

# 漢詩俳句同好会 2014 年度 実績

## 作品等

2014 年度(H26)漢詩俳句同好会記念文集.....遅ればせながら完成しました！



「第8回宗祇白河紀行連句賞」において下記の生徒が 12 月6日(土)奨励賞を受賞しました。

花盛り雲井に見えぬ山も無し(お題)

居眠る人のほおのひとひら

ほくそえむいたずらっ子の筆の先

3年D組 曾柁 真衣

「第6回諸橋轍次博士記念全国漢詩大会」において下記の生徒が入賞及び入選いたしました。11月9日(日)諸橋轍次記念館において表彰式がありました。

### 【秀作賞】

#### ●晩秋

清冷秋暉照錦楓

清冷たる秋暉 錦楓(きんぷう)を照らす

蕭蕭草野韞寒虫

蕭蕭たる草野 寒虫を韞(つつ)む

森然暮景数行雁

森然たる暮景(ぼけい) 数行の雁

遊子帰郷感朔風

遊子(ゆうし)帰郷し 朔風(さくふう)を感ず

【だんだんと秋が終わりを迎えて、もうすぐ冬になることを詠み込んだものです】

2年B組 山口 明日香(日高市立高根中学校出身)

### 【秀作賞】

●冬日庠舎

早晨光彩正門通

早晨光彩(そうしんこうさい) 正門の通り

庠序庭柯健脚童

庠序(しょうじょ)の庭柯(ていか) 健脚の童べ

天外雀児如扑舞

天外の雀児(じゃくじ) 扑舞(べんぶ)するがごとし

霄花藪藪境涯瓏

霄花藪藪(しょうかそくそく) 境涯(きょうがい)瓏なり

【母校の中学校を思い出して詠みました】

2年E組 曾我 七海(所沢市立北野中学校出身)

### 【入選】

●冬日偶感

清爽凍雲明旦空

清爽凍雲(せいそうとううん) 明旦(みょうたん)の空

水晶霜露冽泉淙

水晶(すいしょう)霜露(そうろ) 冽泉(れつせん)淙(そそ)ぐ

惠風無感山嶺雪

惠風(けいふう)感無く 山嶺(さんれい)の雪

美麗銀花凜凜冬

美麗(びれい)銀花 凜凜(りんりん)たる冬

【冬のきりりとした風景を詠み込みました】

2年B組 清水 恵美(三芳町立三芳中学校出身)

## 【入選】

### ●夏日光露

夜陰閑静黒雲廻

夜陰(やいん)閑静(かんせい) 黒雲廻(めぐ)る

忽地閃光輝赫皚

忽地閃光(こっちせんこう) 輝赫(きかく)皚(しろ)し

絢爛壮図消暑爽

絢爛壮図(けんらんそうと) 消暑(しょうしょ)爽やかに

闇中煙滅熱情恢

闇中煙滅(あんちゅうえんめつ)するも熱情恢(さか)んなり

【華やかな打ち上げ花火の様子を詠み込みました】

2年D組 白戸 美南子(狭山市立入間川中学校出身)

## 【招待作家】

### ●夏日

蝉吟嚙嚙圃園栄

蝉吟嚙(せんぎんけいけい)として圃園(ほえん)栄え

恵気涼涼碧澗清

恵気(けいき)涼涼として碧澗(へきかん)清し

白日眺庵簾返照

白日庵(あん)を眺め 簾(れん)返照す

夜来閑寂盛河西

夜来閑寂(かんじやく) 河西(かせい)盛んなり

【夏の日心地よい日暮れの様子を詠み込みました】

2年B組 長瀬 伊織(入間市立上藤沢中学校出身)

## 【招待作家】

### ●由比ヶ浜即事

浦鷗回転火雲張

浦鷗(ほおう)回転(せんてん)し 火雲張る

十里一望舟筏行

十里一望す 舟筏(ふねばつ)行き

万頃沙汀魚忽躍

万頃(ばんけい)沙汀(さてい) 魚忽(たちま)ち躍る

濤波激瀾海風涼

濤波激瀾(とうはれんえん)として 海風涼し

【夏の日に由比ヶ浜に行った風景を詠み込みました】

2年D組 関口 美香(飯能市立加治中学校出身)

## 第 55 回狭丘祭

9月6日(土)、7日(日)に狭丘祭において出品致しました。創作漢詩、漢詩折り紙、漢詩の規則、等身大孔子・晏子模型を展示及び解説しました。また、漢語たほいやクイズ、偏付き、付け句コンクールなどを実施しました。

ご来場、誠にありがとうございました。



以下に来客の方々による付け句コンクールと感想を掲載しました。

### 【来客者の方々による付け句コンクール】

諸葛孔明 我に智を貸せ(お題・七七)

※天才軍師諸葛孔明に相談したいことを五七五で詠み込もう!

- ■来客者による作品
- ・やるべきかやらざるべきかアルバイト
- ・女子の中話題に困りただ笑う
- ・文化祭嫌とは言えぬ恩師の誘い

- アホ息子に世の厳しさを教えたい
- 先週も解かなかったつけその問題
- 体重が全くもって落ちません
- どうしたらガールフレンドできますか
- ソースつけ醤油つけたらだめなのか
- どうしたらくるくるパーマ直ります？
- 二号館早く出来たらいいのにな
- 数学が丸が一つで困ります
- こんなにもいっぱい食べていいかしら
- 文化祭当日までに間に合わず
- 飽きました受験生活はよ終われ
- もうけたい金持ちになってがっぼがっぼ
- フル単と自由な時間を我欲す
- お前には何もいらぬこびぬのだ
- どうしたら智君に会えますか？
- 勉強はいつまでやればいいですか
- 全米で錦織圭が優勝す
- 人生を楽しみながらいきたいわ
- 子の受験親は何をやできるらん
- 松島やいつの日には訪れん
- とりあえず笑顔でいたいな何事も
- 寒すぎる北の大地をあたためよ
- 傷寒論原本の術知り得るか
- 顔のしわどうしてこんなに増えたのか
- 我が息子将来は何になるのやら
- 南国へいつ脱出できるのか？
- 晩ごはんあっちもこっちもおいしそう
- 地下鉄の博物館へ行きたいよ
- お金がねほしくてほしくてたまらない
- あなたより賢くなるにはどうしたら？
- 低身長孔子の身長分けてくれ

- ・体重とビールの量が増えていく
- ・我が母校校舎がいくつふえるのか
- ・手作りの素材極上出来微妙
- ・内観の永遠に残れり狭山ヶ丘や

・

## 体育祭

体育祭では部活動対抗リレーに出場しました(起・承・転・結！)



## 漢語たほいや

### A「赤手」

1)猿の手のこと。2)食事もなく貧しい人のこと。3)恥じらうこと。4)カルタでお手つきした手のこと。5)素手。何も手にしていない。

### B「紅塵」

1)賑やかで人が雑踏するところ。2)紅ショウガの別名。3)朝日でもやが赤く染まっているさま。4)紅葉の葉っぱが降り積もった様子。5)戦争で敗北したこと。

### C「崇朝」

1)人生を変えるほどの大切なことがある日の朝。決意を固めている様子を表す。2)夜明けから朝食までのこと。3)王朝を尊ぶこと。4)一から考え直すこと。5)発展している国のこと。6)早起きをすること。

### D「行火」

1)動かすことのできるコタツ。2)全力で走ること。3)葬式のときに提灯を持って並ぶ様子。4)花火をすること。5)煮炊きのために火をくべること。6)風邪を引いて熱が上がること。7)先祖を天国へ送るための送り火。日本の「大文字のようなもの」

【解答】A-5) B-1) C-2) D-1)

漢詩俳句同好会「宗祇白河紀行連句賞」高校生の部において奨励賞受賞！

12月8日(日)第七回「宗祇白河紀行連句賞」の表彰式があり、1年B組長瀬伊織が高校生の部において奨励賞を受賞しました。この連句賞は連句三十六句のうち、第三までの「三つ物」を作るものです。

発句 関山の神みそなわす青田かな(お題)

脇句 塔の中から浅草の川

第三 蝶が飛ぶ昼の樂園空の上

漢詩俳句同好会「第5回諸橋轍次博士記念全国漢詩大会」において入賞及び入選いたしました。

### 【優秀賞・鈴木虎雄賞】

#### ●寧静夏夜

螢燭青灯深穩宵

螢燭(けいしよく) 青灯(せいとう) 深穩(しんおん)なる宵

天潢輝照水郷橋

天潢(てんこう) 輝照(きしょう)す 水郷(すいきょう)の橋

虫声唧唧初秋感

虫声 唧唧(しよくしよく) 初秋の感

霽月閑雲冷氣漂

霽月(せいげつ) 閑雲(かんうん) 冷氣漂う

1年B組 関口 美香(飯能市立加治中学校出身)

### 【奨励賞・BSN新潟放送賞】

#### ●秋日即事

曉霞淡映雀兒飛

曉霞(ぎょうか)淡く映え雀兒(じゃくじ)飛び

返照濃輝烏鵲帰

返照(へんしょう)濃く輝き烏鵲(うじゃく)帰る

不覚白駒如過卻

覚えず白駒(はっく)の卻(げき)を過ぐるがごとし

古人懐旧亦無違

古人の懐旧も亦(また)違(たが)い無からん

1年B組 長瀬 伊織(入間市立上藤沢中学校出身)

### 【秀作賞】

●茶圃

狭陵名宝摘仙叢

狭陵(こうりょう)の名宝 摘仙(たくせん)の叢(くさむら)

連畝延々揺葉風

連畝(れんぼ)延々 葉を揺らす風

娘子摘茶織指頭

娘子(じょうし)茶を摘む織指(せんし)頭(あらわ)なり

遥天碧緑映双瞳

遥天(ようてん)碧緑 双瞳(そうどう)に映ず

2年C組 曾祢 真衣(所沢市立美原中学校出身)

【入選】

●夏日偶成

溽日清流不老川

溽日(じょくじつ)清く流る 不老の川

仰望雲影映飛仙

仰望すれば雲影(うんえい) 飛仙(ひせん)を映ず

緑風揺漾蟬吟噪

緑風揺漾(ようよう)として蟬吟(せんぎん)噪(さわが)し

一刻睡郷星满天

一刻の睡郷(すいきょう) 星天に満つ

1年F組 有馬 彩加(入間市立野田中学校出身)

【入選】

●夏日遊泳

蒼海白濤湾曲汀

蒼海の白濤(はくとう) 湾曲の汀(みぎわ)

飛流直下落南溟

飛流直下 南溟(なんめい)に落つ

瞬時融化吟情爽

瞬時の融化(ゆうか) 吟情(ぎんじょう)爽やかに

返景映輝潮面萍

返景(へんけい)映輝す 潮面(ちようめん)の萍(うきくさ)

1年F組 白戸 美南子(狭山市立入間川中学校出身)

### 【入選】

●夏日偶成

青天爽々褥時夢

青天爽々 褥時(じよくじ)の夢

白日蒼々徐向東

白日蒼々 徐(おもむ)ろに東を向く

知己清遊忘数刻

知己(ちき)との清遊(せいゆう) 数刻を忘る

西方広漠擘然紅

西方広漠(こうばく) 擘然(ようぜん)として紅なり

2年D組 丹下 詩子(田無市立田無第三中学校出身)

2013 年度(H25) 二松學舎大学主催 全国学生・生徒漢詩コンクール「生徒鑑賞文部門」において3年E組の石田純平の「人生を表す漢詩」が佳作に入選致しました。

### 【人生を表す漢詩】

歴史を研究していると、偉人と呼ばれる人たちは皆、自分の生きる道というものを持っていたように思える。

秀句寒哦五十年 愧泥乃祖洞曹禪 秋風忽酒小時涙 夜雨青燈白髮前

これは室町時代の禅僧一休宗純の漢詩である。気の利いた言葉をさもわかった様に口ずさんで五十年。祖師の禅につかり、そこから抜け出せない自分が情けない。秋風に吹かれ、子どもの時を思いだすと涙がこぼれた。雨の夜、消えかけた暗い灯の前で、俺の髪はもう真っ白だが、という意味である。

自分も一休宗純にはテレビアニメでのイメージしかなかったが、実際はイメージと異なっていた。まずこの詩からも分かるように、禅僧だというのに髪を毛をはやしていた。動物の肉を普通に食べていたことや、寺に近寄るのを嫌がったなど、僧とは思えない行為。さらには、正月に杖の先に人の骸骨をつけて、「ご用心。ご用心。」と言いながら、走り回るなど、こういった話は挙げれば切りがない。そして、自分が死ぬ間際「死にとくない」と言った。

こういった話を知り、自分も一休宗純は本当に禅僧であったのかと疑ってしまった。しかし、彼のしてきたことには全て意味があったのである。彼は僧として、形骸化してしまった禅を変えようとしていた。そのために、僧らしからぬ行為を行った。そして死があつての生を伝えるために骸骨のついた杖を持って走り回っ

た。

この詩にも、それが表れている。白髪になるまで、自分の伝えたいことしてきたのに、まだ伝えきれていないと後悔している。だから、最期に「死にとうない。」と言ったのではないだろうか。この詩には、一休宗純の伝えなかったこと、彼の生きる姿勢が書かれているように思える。一休宗純は自分の伝えきれなかったことをこの詩を以て伝えようとしたのかもしれない。それは自分の禅に対する考え方と自分の生き方を見つけるということかもしれない。今、この世界を生きていけるのは自分の生き方を持っている人だけではないだろうか。たとえそれが人にどういわれたとしても。そういうことを一休宗純はつたえようとしているように思える。自分も胸を張って生きていくな人間になりたいと思う。

石田純平(入間市立東町中学校出身)

### 【漢俳柏梁体】

#### 「食指動」(下平声・七陽)

- 秋月南瓜如暉光(1年女子)
  - ・秋月の南瓜暉光(なんかきこう)のごとし
  - (月下のカボチャは輝く光のようだ)
- 山郭樹陰蕈薫芳(1年男子)
  - ・山郭の樹陰に蕈薫芳(しんくんかんば)し
  - (山村の樹陰に松茸が香しく、秋の気配が感じられる)
- 山阿菌蕈燦燦陽(1年女子)
  - ・山阿の菌蕈(きんしん)燦燦たる陽
  - (山奥の舞茸は燦燦とした日光を浴びている)
- 紅白鯛飯大吉祥(1年女子)
  - ・紅白の鯛飯(ちようはん)大吉祥
  - (紅白の鯛飯は幸運の兆しである)
- 魚蔬富贍粟米岡(1年女子)
  - ・魚蔬(ぎよそ)は富贍(ふせん)粟(ぞく)米(べい)の岡
  - (魚と野菜が豊富で米穀は岡のようだ)
- 鱸放銀光港湾梁(2年女子)
  - ・鱸(いわし)は銀光を放つ港湾の梁(やな)
  - (イワシは銀の光を放ち、港湾の梁(魚をとる装置)にかかる)

●秋刀魚味魅君王(3年女子)

・秋刀魚(しゅうとうぎよ)の味君王を魅す

(サンマの味は殿様を魅了する。(落語『目黒のさんま』)より)

●金風馥郁甘藷香(1年女子)

・金風馥郁(ふくいく)たり甘藷(かんしょ)の香

(秋風は焼き芋の香りを運んでくれる)

●万有引力空拳堂(2年女子)

・万有引力空拳の堂(からなし)

(万有引力であるコリンゴが落ちてこないものか。手を伸ばしても空っぽのまま)

【漢詩鑑賞】

王維「竹里館」、「鹿柴」、「九月九日憶山東兄弟」、菅原道真「九月十日」、岑参「磧中 作」、王之渙「登鶴鵲楼」など

【漢俳柏梁体(九人一詩)】

「氷菓賛」八庚平声

●自簾削声氷輝明(1年男子)

・簾より削声(さくせい) 氷輝明らかなり

(簾越しに氷を削る音が聞こえ、輝きがはっきりと見えてくる)

●溽暑正午欲大盛(2年女子)

・溽暑(じょくしょ)の正午 大盛を欲す

(蒸し暑い昼には大盛りのかき氷が食べたくなる)

●列童迷蜜欠氷栄(2年女子)

・列童蜜を迷ひ 欠氷(けっぴょう)栄(さか)ゆ

(並んだ子供達はシロップに迷い、かき氷(欠氷)が繁盛す)

●動後涼感一杯精(1年女子)

・動後の涼感 一杯の精

(体を動かした後の涼感 一杯の白さ)

●高熱呻吟如風清(1年女子)

・高熱呻吟 風のごとく清らかなり

(高熱でうなされている時にはアイスは風のように清らかである)

●銭湯羅馬食氷平(1年女子)

・羅馬(ローマ)から銭湯へ 氷を食(く)らふ平がお  
(「テルマエ・ロマエ」の様に氷を食べる人の顔は平たい)

●秀才開発不溶英(1年女子)

・秀才は開発す 溶けざるの英(はな)  
(イギリスの秀才は決して溶けない花のようなアイスクリームを開発した)

●一年何時愛利軽(3年男子)

・一年何時利軽を愛す  
(今は一年中いつでも食べられる便利な手軽さを愛す)

●白竜昇天聳峙城(1年女子)

・白竜昇天聳峙(しょうじ)の城  
(白竜(ソフトクリーム)は天を目指し、コーンは聳え立つ城のようだ)

【漢詩鑑賞】

頼山陽「泊天草洋」、「題不識庵擊機山図」、江馬細香「夏夜」、楊万里「夏夜追涼」、石川丈山「富士山」高駢「山亭夏日」、李白「王昭君」、蘇軾「飲湖上初晴後雨」など

第1回漢俳杯付け句コンクール(生徒が創作した付け句をお互いに投票したものです)

■お題 「狭山ヶ丘の この集いかな」

優秀賞 芽生えては 活気溢れる 茶の香り(額田王)

2位 富士望む 武蔵野の地に 朋の声(浅葱の鶴)

3位 朝光り 富士を望んで 日々励む(常磐)

【漢詩鑑賞】

高啓「尋胡隱君」、杜牧「江南春」、「清明」、「山行」、「赤壁」、蘇軾「春夜」、孟浩然「春暁」、井伏鱒二『厄除け詩集』など